

研究課題番号	5-2301
研究課題名	廃棄窒素削減に向けた統合的窒素管理に関する研究
研究実施期間	令和5年度～令和7年度
研究機関名	国立環境研究所
研究代表者名	仁科 一哉

1. 評価結果

価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

日本国として、様々な形態の窒素の収支を明らかとし、制御方策を示すことは非常に意義があり、国際会議等においてプレゼンスを示すうえでも重要と考えられる。学術的な貢献も大いに期待できる。最新のわが国の窒素インベントリを開発し、化学肥料の使用量を30%削減する政策目標の妥当性について科学的検証がなされた点は研究の重要な成果と考えられる。また、ロジックモデルは、膨大な領域であるにもかかわらず、綿密な計画に基づき、MECEかつ研究と政策の両面に有用なロジックツリーが構築されつつあるといえる。一方で、サブテーマ間の連携が現時点では見えない。また包括的な窒素管理には農業部門のみではなく水処理部門や廃棄物処理門も欠かせないと思われる。これらも含めた物質フロー図を期待する。